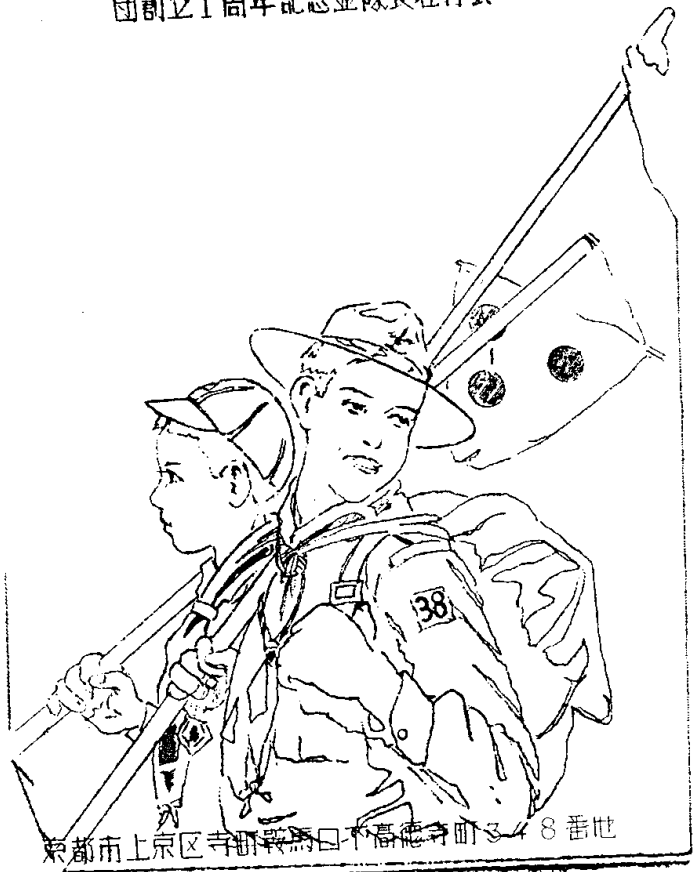
KYOTO

BOY SCOUT 38

団創立1周年記念並隊長壮行会



京都市上京区寺町義馬口下高徳寺町348番地

長休寺内日本ボーイスカウト京都第38団

少年隊．年少隊．

BOY SCOUT CAMP

人間の本能と野外生活

私達は、身体の諸枝関の上に、又精神の上にも、祖先、原始人類の持つてゐた生活の諸要件は遺伝され、又それを持たうとする"複元力"を持つているといはれます。この複元力は或る時は何の意味をも有せないが或る時は環境に順応仕様とする進化力の逆大に働くのを抑制し、穏健な進化の継続を助け、予期せぬ環境の変化にも、自己保存の重大な役目を勤めつゝあります。この精神の複元力の一つは本能として現れ、人が山野の自然に憧れるのもその一つの現れであります。

原始時代の生活が潜在意識となり、時折表れて物質文明に拮抗し、人類社会の文明病を救ひ、その隘路を防ぎ進化の経路を健実に導くものであるといはれて居ます。

狩 魚釣 登山 探検 遠足 水泳 漕舟 スキー 花見 雪見、観月 等すべて本能に発せないものはありません。この心の発路の最たるものが、キャンピングであり、この復元力が自然と対決し、適応して行く過程が、冒険等の好奇心を引起させるので少年を取巻く様々の意識の重圧の中に解放されずに悩んで居ます。見えざる憧、原始生活の意欲 回帰の欲求等 これを純な形で行うとするのが私達ボーイスカウトのキャンプなのであります。

スカウトの野外生活

社会生活の内面的自然生活は、山奥の住民や開拓者の中に自然に養はれてゐます。よき公民の資質は都市になくといはれて居りますが、共同生活の本然の姿に、人間の本能が発達するものと考へ教育方法の根據をこゝにおいて居るのです。時代は移り変り、嘗ての自由 平和は、私達の欲求に反比例し遠ざかり、現実に階級闘争や冷い戦争の最中にあつて依然として自由と解放 自主と独立に憧れる私達であり、永遠絶体なるもの（宗教）或は美しいもの、

本ぶは長休寺だ。組長は坂倉君です。
新入が一人入って来た　上杉君です。月例会に、げきや、いろんなことをするカブ隊は、とてもおもしろい。

2組　上杉博一

ぼくは　カブにはいったら

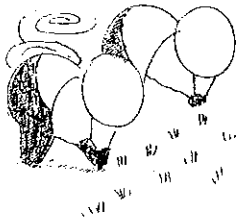
ぼくはカブ隊に　はいったら　もっとやきうがうまくなりたいし、もっと、ぼうけんづきになりたい。たがまだカブのこともしらんしだめですが、だんだん　うまくなりたいと思いました。

ぼくは　がいちんと　いっしょのくみだが　がいちんは二組のくみちょうだ。ぼくはしんまいだから友だちの名まへもしらない。

楽しかった　ピクニック

3組　萩野幸一

僕たちは、5月3日　けん法記念日に　がいそく車で、"あしや"にいった。行くときは、めづらしいのりものや、いろいろの物を見た。
僕は樋口君と、いっしょのせきにすわった。2時間程電車にのられあしや駅についた。いろいろの隊の隊長さんや、ふくたいちょうさんが、おかえにきてくれていた。海岸まで一緒にいった。
たのしいゲームや　しをいがりもした。ゲームで一番楽しかったのは、たからさがしとやきうだった。ゲームで一番だったのは　ぼく所の38たいだった。



すなお

自分で

助けあう